

## 愛知県東浦町発！潜在看護師が柔軟に働ける新しい看護モデルを全国に広めたい

## 一元総合病院の主任がうつを乗り越え起業、超高齢社会に応える新しい看護のカタチー

私は愛知県東浦町在住で、ナースの柔軟な働き方を目指す「ポケットナース」という事業の代表をしている中嶋美世子と申します。私は、看護師としての21年のキャリアを積み、2020年に多忙とストレス、環境の変化からうつ病を発症し、一度は看護師を辞める決意をしました。しかし、体調が回復するにつれて、再び看護への情熱が芽生え、自分の経験を生かして社会に貢献したいという思いが強まりました。そして、2024年1月に「ポケットナース」という個人事業を立ち上げ、看護の力を最大限に発揮できるサービスを提案しています。



看護業務(オンライン)の様子



クラウドファンディングページ

## ●日本の看護の現状

看護師の離職が深刻な問題となっています。厚生労働省「2022年看護師離職率調査」では、毎年1割の看護師が職を離れています。また、看護師はうつ病や心の病にかかるリスクが高い職業とされており、職場を離れた潜在看護師は約57万人います。潜在看護師を再び社会に活用することは、看護師不足に対する即効性のある解決策ですが、現場の過酷な労働環境や長時間労働が復職をためらわせる要因となっています。

## ●フリーランスの道を選んだ経緯

2022年10月、体調がすぐれず現場復帰が難しかった私は、在宅でオンラインナースとして働き始めました。電話を通じて患者の酸素投与量の調整や、家族に検温をお願いし、体温・脈・呼吸状態や全身状態の観察を行う中で、「声だけで救える命と看護がある」と強く感じ、オンライン看護の可能性を実感しました。この経験が、オンラインとオフラインを組み合わせた新しい看護サービスを展開するきっかけとなり、フリーランスとしての道を選ぶ決断をしました。

## ●現在のポケットナースの活動

現在、私は在宅のオンラインナースとして働くほか、施設や病院・クリニックでスポットナースとして、短時間で現場の応援をしています。実体験として、人手が欲しい時間帯(回診、食事・入浴介助、採血の時間帯など)に看護師が業務に加わることで、人手不足解消のほか、何かあったときでも安心であると好評です。ポケットナースでは、短時間でも看護を必要としている施設等と、短時間やスポットで集中して働きたい看護師のマッチングをします。この働き方であれば、精神的にも肉体的にも負担が少なく、介護や育児の都合などで隙間時間を有効活用して働きたい看護師のニーズに応えることができます。また、施設等が抱える慢性的看護師不足の解消も期待することができます。

## ●ポケットナース法人化の理由

潜在看護師が所属先を決めるとき「個人事業に所属するよりも、大手企業や法人で働きたい」という意見が多く聞かれました。ポケットナースに所属したいと考える潜在看護師からの信用を得るため、ポケットナースを法人化することを目指しています。

～ 9月30日(月)まで、法人化に向けたクラウドファンディングに挑戦中！ ～

このプロジェクトを通じて「ポケットナース」の存在を広め、法人化を実現し、2025年問題と看護師不足の新たな解決策を提供することを目指しています。

詳細はこちら▶

◆目標支援金額：60万円(9月9日現在、18%達成)



## 【取材問い合わせ先】

ポケットナース 代表 中嶋 美世子 (なかしまみよこ)

〒470-2102 愛知県知多郡東浦町緒川相生の丘8-17 TEL : 090-5865-6911

Mail : poket.nurse78364@gmail.com 紹介ページ・各種リンク先 : <https://hlmfi.hp.peraichi.com/>

